

Eメールニュース「みやぎの九条」 NO. 347

2021年6月1日発行／みやぎ憲法九条の会

Home Page <http://miyagi9jou.sakura.ne.jp/>

緊急署名 (5/10 現在)

宮城県内 9条の会連絡会：4,301 筆 他団体：4,516 筆

合計：緊急署名推進センターの集約：8,817 筆

* 5月10日付でこの間集約された1647筆を憲法を守り・いかす共同センターに送付しました。

* 署名は継続して集めます。署名ハガキ付チラシご活用ください。宮城県内九条の会連絡会に参加されている地域九条の会には必要枚数お送りしますので、みやぎ憲法九条の会事務局までお申し込みください。はがき無料は2022年1月31日まで有効です。

☎022-728-8812 mail: info@9jou.jp

表面

守ろう! 命と暮らし 戦争NO!

井上 ひさし
「子どもにつたえる日本国憲法」より

もう二度と戦争はしない(第九条)

私たちは、人間らしい生き方を尊ぶという 法この世界をまごころももっている人間らしく生きるための決意を大切にすることで豊かな世界を 築きつづけているから 私たちは どんなにもめごとが起ころうとしてもこれまでのように軍隊や武器の力で 力でつけてしまったりやり方は選ばない殺したり 殺されたりするのは人間らしい生き方だとは考えられないからどんな国も自分を守るために 軍隊を持つことができるけれど私たちは 人間としての勇気をふんいおこしてこの国がつづく限り その立場を捨てることができないのももめごと 筋道をたどってよく考えて ことばの力をつまぶからならずともと信ずるからである

9条改憲NO! STOP 改憲発議 全国緊急署名推進センターみやぎ 宮城県内九条の会連絡会「連絡先」みやぎ憲法九条の会 022-728-8812 info@9jou.jp

裏面

「コロナ」の今をどう生きる? 答は憲法に。

政治の役割は もっと検査を! 支えよう! 医療・介護・福祉

「文化」は生きるためにも不可欠 生活・健康・文化の保障は国の責任です

医療・検査体制の拡充を国は公衆衛生の向上に努めなければなりません

25冊

表現の自由、知る権利の保障を憲法の趣旨として守っています

憲法 13条 生命・自由・幸福追求の権利は、最大の尊重を必要とする

21冊

お金の心配せずに、学ぶ権利がある 数字埋め込み型付録の拡大を希望する方へは郵送品も準備しています

26冊

全ての人に働く権利がある 解雇や停止の制限は認めません

27冊

【日本国憲法 第九条】

日本国民は、正義と秩序を基調とする国際平和を誠実に希求し、国権の発動たる戦争と、武力行使は、国際紛争を解決する手段として、永久にこれを放棄する。前掲の目的を達成するため、陸海空軍その他の戦力は、これを保持しない。「憲法9条は世界の宝」と、平和を願う世界中の人々に支持されてきました。

今、この憲法を 変える必要がありますか?

安倍前首相の意を受けて、菅首相は国会の憲法審査会に自民党案を提案すべく、党内の作業を進めています。その目的の中心は、「憲法9条に自衛隊を明記」することです。

自衛隊のこれまで… 攻められた時のため 歴代政府は、自衛隊は攻められた時の最小限度の暴力組織と説明し（専守防衛）、海外での武力行使はできないから自衛隊は「軍隊」ではないので、憲法9条に反しなと説明してきました。

憲法9条に書き込む… 他国の戦争に参加して武力行使する軍隊に2015年に強行された「安保法制」により、自衛隊は日本が攻撃を受けなくても、同盟国とともにいつでも、どこでも武力行使する一軍としての活動ができるようになりました。これは明らかに憲法9条に反します。法律では防衛できたものが有効なため、自衛隊を9条に書き込めば、これまでの9条はなくなり等しくなります。

郵便はがき

9 8 1 - 8 7 9 0

仙台北周 承 認 2073 差出有効期限 2022年1月31日 まで

みやぎ憲法九条の会 係

（受取人） 仙台市青葉区柏木1-2-45 フォレスト仙台5階

1

9条改憲NO! 改憲発議に反対する全国緊急署名

2019年7月の憲法審査会、改憲に賛成する勢力が3分の2を割り越した。安倍前首相の改憲案に賛同する勢力が大半を占めてきた。この「憲法9条（以下「9条」）を改定する」といふ憲法発議案は、2020年10月、改憲案として提出された。改憲案を断念し、9条を永久に改定しないことを目指す。改定案の多くは改憲案を断念し、9条を永久に改定しないことを目指す。

【請願事項】

- 1 緊急署名集約がすすめる憲法9条などの改憲発議に反対します。
- 2 憲法を生かし、平和・人権・民主主義、生活の向上が実現する社会を求めます。

項目	内容
新 規	新 規
保 存	保 存
取 消	取 消
再 考	再 考

9条改憲NO! 全国市民アクション

「改憲も自衛隊もNO」改憲断絶に反対する市民連帯会事務局 受付24時間
事務局 仙台市青葉区片平2-1-11 1F 電話 022-228-1111 FAX 022-228-1112 受付時間 10時～17時 土日祝祭日 受付停止

仙台市青葉区片平2-1-11 1F 電話 022-228-1111 FAX 022-228-1112 受付時間 10時～17時 土日祝祭日 受付停止

政府は今、「敵基地攻撃能力」の保有を検討しています

つまり「やられる前にやる」先制攻撃のための準備をするということ。憲法9条に反するだけでなく、近隣諸国との軍事的緊張をもたらし、軍拡競争に拍車をかけてしまいます。

こんな危険な大軍拡が

（中期防衛力整備計画（2019年～23年、27兆5000億円）ですべて「敵基地攻撃」可能な兵器が増える）

- F35ステルス戦闘機
- 攻撃型空母
- 105mm砲2.5両門で備える
- ヘリ搭載量「いずも」も増やそう
- レーダーに侵入しなく艦船に侵入して攻撃
- F35ステルス戦闘機を艦載し、海外に展開して攻撃
- 民間船が哨戒機に
- 高速潜空型の研究開発
- 対艦500km～900kmで遠距離を攻撃
- 弾道ミサイルで機体途中で消滅して攻撃
- F35戦闘機や改修F15戦闘機に搭載
- 艦載機は最大6機も搭載できる

9条が1番! 軍費削減ついでに9条を復活させよう

*署名は県名よりしっかり書きましょう。「●●市」などは他県に同名の地名がある場合は除かれます。もちろん、「同上」「〃」は不可です。国会提出時に大変な苦勞となっています。よろしく願いいたします。

6月の「19日行動」

19日行動は2015年9月19日に9条に違反する「安保法制強行採決」したことを忘れず、「安保法制廃棄」を求めて毎月行っている運動です。

- 仙台市：6月20日（日）11:30～13:00 場所：仙台市中央通東二番丁 平和ビル前
- 石巻市：6月19日（土）15:00～16:00 場所：石巻工業高校前・蛇田交差点
- 涌谷町：6月21日（月）13:00～13:30 場所：涌谷公民館前交差点

（19日が土日に当たる場合は第3月曜日）

- 小牛田：6月19日（土）13:00～13:30 場所：国道108号山の神神社前交差点
- 気仙沼市：6月19日（土）11:00～11:30 場所：クボ店前
- 名取市：6月19日（土）13:00～ 場所：名取駅西口前

宮城県内九条の会連絡会の街頭宣伝は第2・第4火曜日

場所：仙台市中央通東二番丁 平和ビル前。

時間：12時から13時まで。

実施日：6月は8日、22日。7月は13日、27日。

6月3日は澤地久枝さんの提唱「アベ政治を許さない！」Day！！

・ 午後1時キツカりに「アベ政治を許さない！」ポスターを掲げましょう。

- 名取市 旧ヤマザワ前道路交差点
- 涌谷町 涌谷公民館前交差点
- 宮城野区 坂下交差点

【これからの県内催事情報】

戦争を語りつぐ上映会（6月）

「沖縄戦 出口なき戦場」～最後の1か月でなにが～

1945年3月末に戦闘が始まり、5月末には日本軍の司令部があった首里が陥落。ここで事実上の勝敗は決していたにも関わらず、その後およそ1ヶ月にわたって組織的な戦闘が継続され、多くの住民が苛烈な攻撃に巻き込まれた。その間、戦場では何が起きていたのか？今なお空白が残る沖縄戦・最後の1か月に、アメリカ軍の新資料や人びとの証言から迫る。
（2020年、98分）

同時上映 「ガマフュー 遺骨を家族に、沖縄戦を掘る」（2015年24分）

日時：6月11日（金）13:00～15:00 （参加費：無料）

会場：泉病院友の会ホール（仙台市泉区長命ヶ丘2-1-1）

主催：泉病院友の会平和の委員会

申込先：泉病院友の会 378-3883 定員10名（要事前申込）

*マスクの着用をお願いします。感染症状況により中止となる場合もあります。

第55回憲法連続市民講座

「なぜ学問の自由は大切なのか」

～日本学術会議会員の任命拒否問題から考える～

菅義偉内閣総理大臣は2020年10月1日から任期が始まる日本学術会議の新会員について、同会議が推薦した候補者105名の内6名の任命を拒否しました。この任命拒否は学問の自由を侵害するものだという指摘もされています。そもそもなぜ、学問の自由は大切なのか、この任命拒否問題は我々市民の生活にどのような影響があるのかお話しします。

日時：6月26日（土）14:00～16:00

会場：仙台弁護士会館 4階会議室（仙台市青葉区一番町2-9-18）

講師：水島朝穂さん（早稲田大学法学学術院教授）

参加費：無料

主催：仙台弁護士会

お問い合わせ：仙台弁護士会 022-223-1001

ZOOM を利用してのご視聴可能。ZOOM で視聴の場合の URL

URL:<https://zoom.us/j/95153951701>

開演時刻になりましたら、上記 URL からご視聴ください。上記 URL は仙台弁護士会 HP (<https://senben.org/>) にも掲載しますのでそこからクリックしていただけます。

鶴ヶ谷地域九条の会総会記念講演

「東日本大震災より 10 年！女川原発再稼働！何が問題なのか？」

東日本大震災より 10 年経過し、復興は道半ばです。新型コロナウイルス感染拡大の中、県民の意向を問わないで震災時に被害を受けた女川原発再稼働の手続きが進められています。また、仙台港では石炭火力発電所の建設が強行され、稼働が続いています。原発問題や足元の環境問題に果たす市民運動の役割についてお聞きします。

日時：6 月 20 日（日）13:30～14:30

会場：鶴ヶ谷市民センター会議室（仙台市宮城野区鶴ヶ谷 2 丁目）

講師：長谷川公一さん（尚絅学院大学特任教授、東北大学名誉教授環境社会学、公益財団法人みやぎ・環境とくらし・ネットワーク理事長）

「講演会の後（14:30～15:30）に鶴ヶ谷地域九条の会賛同者の総会をします。」

講演参加：どなたでも参加できます。

主催：鶴ヶ谷地域九条の会

お問い合わせ：事務局 篠原富雄 090-8780-8091

【九条の会等の活動報告】

2021 年九条の会東北交流会

半田滋氏講演「敵基地攻撃と日米一体化～踏み越える専守防衛～」

コロナ感染の拡大で本来なら昨年5月頃実施予定でした「第9回九条の会東北交流会」がZOOM会議として5月30日(日)に2年越しで開催されました。今回の事務局は山形県が担当し東北地方各県より、合計128人がZOOM視聴で参加しました。

半田滋さん(防衛ジャーナリスト、元東京新聞論説兼編集委員。獨協大学非常勤講師)が基調講演として、安倍晋三前首相がトランプ前米大統領との会談で迫られ、5日後の参議院本会議で突然、アメリカ製武器の追加購入を表明し、イージスアショア導入に至った経過と秋田、山口両県の住民の反対の中で、導入を撤回した経緯を紹介したうえで、この導入は国防上の必要性よりも「導入ありき」であったと指摘した。21年度の防衛予算は5兆3千億円と過去最高を記録しているがその中味や持っている意味理解するには専門家の知見も借りることが必要だと指摘し、この間の米国の戦略変更と唯々諾々を従う安倍・菅政権という観点でお話してくれました。



宮城県内九条の会連絡会の会場

2001年に発生した同時多発テロ以降、米国は中東での対テロ戦争に明け暮れ、気が付いたら宇宙、サイバー、電磁波領域で中国やロシアに立ち遅れている。中国との戦力比較でも中距離弾道ミサイルはINF条約の影響で「中国1250対米国ゼロ」となっていた。空母11隻を保有するも米軍は第一列島線に近づく前に撃沈される」事に気づき、近年戦略の見直しをした。中国封じ込めのために第一列島線沿いへの戦力強化の必要に迫られ、米軍の再編成とともに、自衛隊のフル活用を企図している。2015年の安保法制の変更により自衛隊と米軍の一体運用を強化している。安倍、菅政権はこうした米国のいうとおりの軍拡路線を歩んでいる。護衛艦「いずも」「かが」の空母化、スタンドオフミサイルの導入、敵基地攻撃能力の導入、南西諸島へのミサイル配置、米国の衛星コンステレーションへの参加等はこうしたもとの論議されている。もともとこれらの武器は憲法上日本は持てないとされていたもので、こうしたものを持てば、台湾海峡で米中の紛争が起きれば日本は自動的にその戦争に組み込まれる。日本は武器で対峙するのではなく、米中の対決を回避するための双方への働きかけこそが大切だと強調した。

講演終了後、各県代表、首長九条の会よりこの間の活動紹介があり、以下のアピールを採択しました。

2021年「九条の会東北交流会(オンライン集会)」アピール案 改憲の国会発議を絶対に許さない

日本国憲法は11月3日に公布75年になります。世界的なコロナ危機の広がりの中で、日本国憲法の理念「平和的生存権」が今ほど重みを持っている時はありません。その理念に基づいて定められた憲法第25条の完全実施、即ち、コロナ禍で生活困窮に陥っている人々の「最低限度の生活保障」と「公衆衛生の向上及び推進」に向けて責任を果たすことが、国に強く求められています。しかし菅義偉政権は、感染拡大に的確に対応することはなく、対策は後手後手になっています。国民のいのちと暮らしを守ることこそが政治の最重要責務です。

昨年9月、7年9ヵ月の長期にわたって首相の座にあった安倍晋三氏が政権を投げ出しました。「戦後政治の総決算」を唱え、憲法の民主的条項を踏みにじり、9条改憲に執念を燃やした安倍氏は首相辞任表明で「憲法改正、志半ばで職を去ることは断腸の思いだ」と悔しさを隠しませんでした。一方、「自民党として国民に約束した政策であり、新たな体制の下、実現に向けて進んで行くものと確信している」と述べ、「アベ・スガ9条改憲」への期待を示しました。

安倍氏を退陣に追い込んだ力は、「憲法改正は許さない。9条は絶対に守る」という国民の願いと、「安倍9条改憲NO! 全国統一3000万人署名」や「改憲発議に反対する全国緊急署名」に取り組んだ全国の「九条の会」や市民の運動の結果です。

安倍首相による8年近くの政権運営の中で、新自由主義に基づく社会・経済政策と並んで「戦争する国づくり」が押し進められました。2015年9月に強行成立した「安保法制＝戦争法」の運用具体化にともない、米艦の防御、共同演習の飛躍的強化など、日米軍事一体化が急速に進んでいます。また、安保法制と新ガイドラインのもとで、防衛力を強化する大軍拡が「敵基地攻撃能力の保有」の次元にまで押し進められています。1月に発足した米バイデン政権は、対中国攻勢を企図して同盟国との連携を強めています。4月の日米首脳会談では、日米軍事同盟を全面的に強化する方向が打ち出され、さらに、台湾海峡の平和と安定の重要性が強調されました。こうした中で、台湾有事などの地域紛争への自衛隊の参画と集団的自衛権の行使も懸念されます。違憲の安保法制の廃止は急務です。

「政治の私物化」、「政治とカネ」、「強権的で異論を排除する政治手法」などの民主主義と立憲主義に著しく悖る諸問題は、「安倍なき安倍政治」として菅政権に引き継がれています。その最たるものが、日本学術会議の会員候補者6名の任命拒否です。私たちは、任命拒否に抗議し、その撤回を改めて強く求めます。

菅首相は、改憲派の集会(5月3日)へのメッセージで、「緊急事態条項の検討」と「国民投票法改正案の成立」を誘い水として、改憲4項目の審議を進める意向を示しました。菅首相の改憲決意は、コロナ蔓延の中でも決して衰えず、私たちは「アベ・スガ改憲NO!」の運動を更に強めて行く必要があります。

こうした中で、国民投票法改正案は、立憲民主党修正案(CM規制などについて3年を目途として法制上の措置をとることを付則として加える)を取り込んだ上で、衆議院憲法審査会(5月6日)と衆議院本会議(5月11日)で採択されました。自公政権の思惑を打破できなかったことは極めて遺憾であり、採択に強く抗議します。

衆議院議員任期の本年10月21日までに総選挙が行われます。私たちは、憲法違反の安保法制を容認し、改憲を目指す自民党などに、3分の2以上の議席を占めさせるわけには決していきません。

私たちは、世界の平和な未来のために、憲法の輝く日本・東北地域の実現を目指して、多くの人々と手を携えて進むことをアピールします。

2021年5月30日 第10回九条の会東北交流会(オンライン集会) 参加者一同